

■人権教室実施内容例

実施学年	テーマ	内 容
未就学児	やさしさ	紙芝居などの人権教材を用い、身近な人にやさしくされてうれしかった経験を思い出し、「やさしくすることとは」について考える学習。
小学校低学年	ちがいを みとめよう	自己紹介ゲームを通して、友達の考えを認めること、自分の考えを相手に伝えることができるようにすることで、「誰かと違っていても良い」ということに気づき、相手を思いやる気持ちを大切にするとともに、自己肯定感を高める学習。
小学校中学年	いじめ	紙芝居教材を使用し、言葉で気持ちを伝えることの大切さやいじめをする側の気持ち、される側の気持ち、周りのみんなの気持ちを考え、いじめについてみんなで考え、「いじめは絶対にだめ」ということを再確認する学習。
小学校高学年	思いやり	DVD教材を使用し、30人31脚の大会出場をする主人公の大会に向かう気持ちの変化に気づき、友達を思いやる心について考える学習。
中学生	思いやり	「リスペクトアザーズ」をテーマにDVD教材を用いたり、大切なものの優先順位を考えるグループワークを通して、自分以外の何か（誰か）を大切にすることの大切さやいじめについて考えることで、思いやりの心を育む学習。
高校生 専門学校生	デートDV 防止	DVD教材を使用し、デートDVはどのような行為が該当するかを知り、誰しも起こり得ることである身近な問題であると気付くことで、自分自身の生活を振り返り、交際相手との対等な関係について考える学習。
特別支援学校	学校の要望 に応じて	学校の要望に応じ、個別相談の上、内容を決定します。

以上の学習は、近年、島根県内の各学校において実施された人権教室の一例です。人権教室のテーマについては、それぞれの学校の規模や対象学年等に応じて、個別に相談し、決定することも可能です。人権教室のご依頼やご相談は松江地方法務局人権擁護課（TEL：0852-32-4260）までお問い合わせください。